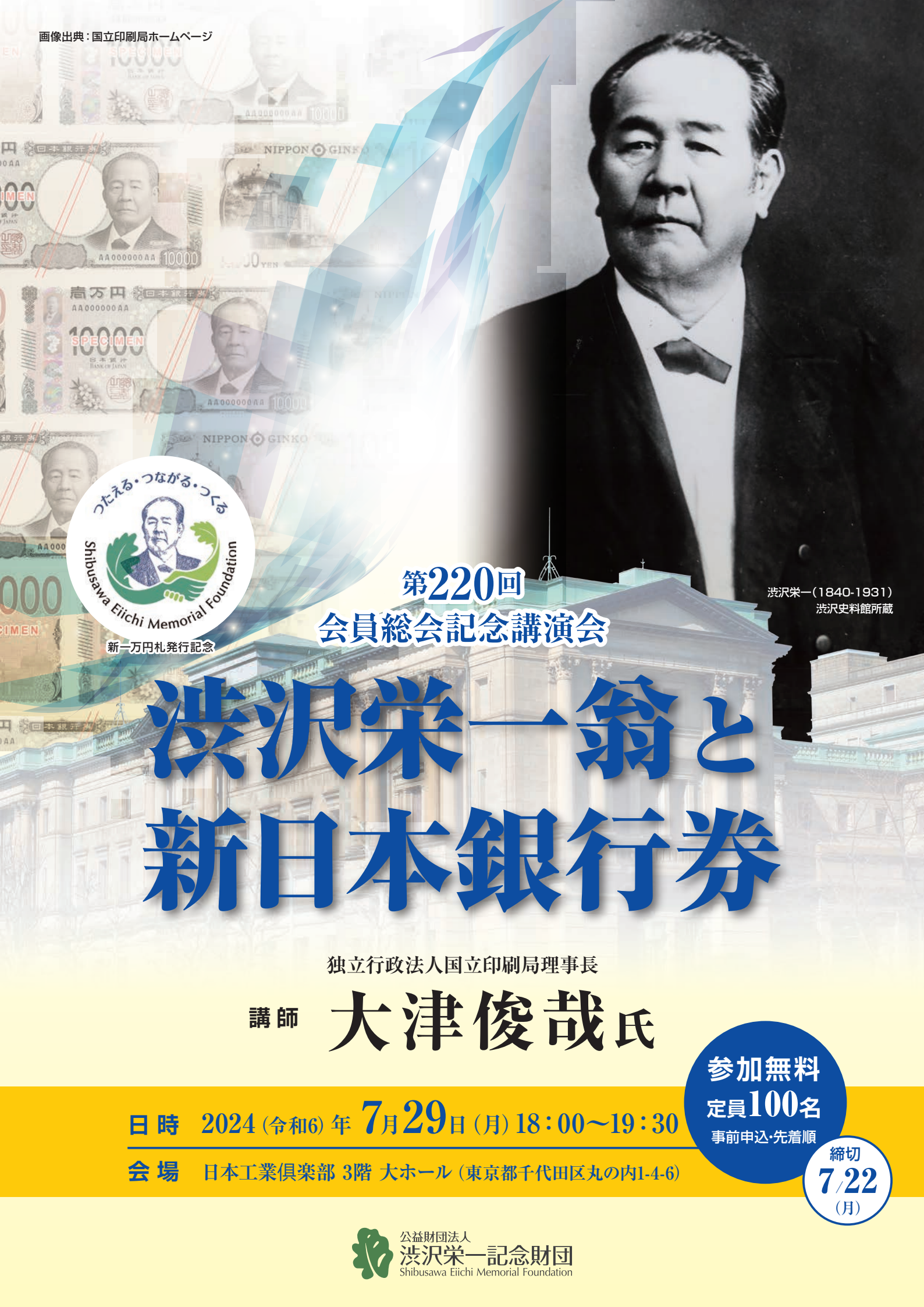




新一万円札発行記念

第220回
会員総会記念講演会

渋沢栄一(1840-1931)
渋沢史料館所蔵

渋沢栄一翁と 新日本銀行券

独立行政法人国立印刷局理事長

講師 大津俊哉氏

日時 2024(令和6)年 7月29日(月) 18:00~19:30

会場 日本工業倶楽部 3階 大ホール(東京都千代田区丸の内1-4-6)

参加無料
定員100名
事前申込・先着順

締切
7/22
(月)



公益財団法人
渋沢栄一記念財団
Shibusawa Eiichi Memorial Foundation

第220回会員総会の後、記念講演会を開催いたします。
記念講演会につきましては、どなたでも参加いただけます。

講演会概要

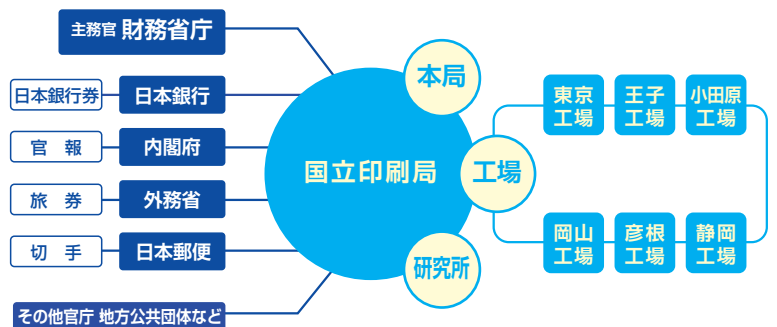
- 演題** 「渋沢栄一翁と新日本銀行券」
- 講師** 大津 俊哉 氏(独立行政法人国立印刷局 理事長)
- 会場** 日本工業倶楽部 3階 大ホール
(東京都千代田区丸の内1-4-6)
- 日時** 2024年7月29日(月) 18:00～19:30
- 定員** 100名 参加無料、事前申込・先着順
- 締切** 7月22日(月)

渋沢栄一記念財団ウェブサイトよりお申込みください。
<https://www.shibusawa.or.jp>



日本銀行券と国立印刷局

お札は財務大臣から指示される製造計画に基づき、国立印刷局が製造し、日本銀行が発注する量を日本銀行に納めています。その歴史は古く、前身である大蔵省紙幣局が、明治10(1877)年に国産第一号紙幣を製造したことに始まります。以来国立印刷局は、用紙から印刷まで一貫して日本のお札をつくり続けています。



国立印刷局 HP 事業案内パンフレットより

昨年(2023年)開催された第219回会員総会の記念講演会 「関東大震災100年と渋沢栄一」に寄せられた感想

- 講師自身の経験から生まれる「人を信じる力」が栄一翁と重なりとても良かった
- 震災後に83歳の渋沢栄一がとった行動に現代のわれわれも学ぶべき
- 災害に苦しんでいる人へ目を向け実践し渋沢栄一に今の時代学ぶべきと思った
- 阪神大震災、東日本大震災共に比較しての説明がとても分かり易く災害時の政治の大きさを痛感した。この歴史を多くの人々に広めるべき。
- 関東大震災での栄一の思考は今の世相に活かされるべきのご指摘に納得

講師プロフィール

大津 俊哉 氏

独立行政法人国立印刷局理事長



1965年新潟県生まれ。東京大学経済学部卒業後、1989年大蔵省(現財務省)に入省し、理財局国債課に配属される。その後、関税局、外務省在米日本国大使館、東京国税局総務部長、内閣官房内閣参事官(地方創生担当)、九州財務局長、財務省理財局次長などを歴任。2022年から国立印刷局理事長。

会場「日本工業倶楽部」までのアクセス

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-6
日本工業倶楽部会館 3階

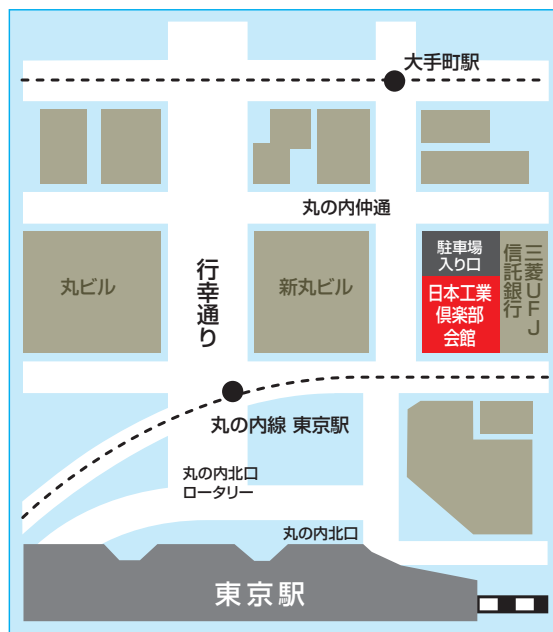
TEL 03-3281-1711(代表)

FAX 03-3281-1797

MAIL soumu@kogyoclub.or.jp

● 公共機関からのアクセス

- JR東京駅 丸の内北口から徒歩2分
- 東京メトロ丸の内線 東京駅下車
- 東京メトロ東西線・千代田線・三田線・半蔵門線 大手町駅下車



お問合せ：03-5972-4921

〒114-0024
東京都北区西ヶ原 2-16-1



公益財団法人
渋沢栄一記念財団
Shibusawa Eiichi Memorial Foundation